

### 人との出会いが私を変えた

島根県まつえ南商工会女性部 高木恵子

「店には出らんでもいいけんね」。そう言われて嫁に来たのが23歳の時でした。とはいえ、いつかは店を手伝わなければと覚悟はしていたので、10年ほど保育士として勤めに出て、32歳の時から店を手伝うようになりました。1年、2年と過ぎるうちに、店に来るお客様や配達先のお客様から「これ1つでも配達してくれる？ 助かったわ、ありがとう」と言葉をいただくようになりました。

この「ありがとう」の一言が、商売の楽しさであり喜びでもあります。一

日中働いてくれたのはずなのに、「明日もがんばろう」という励みになり、働いていることへの満足感にあふれる毎日でした。

ある部員さんに誘われて商工会女性部に入り、女性部活動に参加するようにもなりました。活動がある時には、それを理由に「子どもや店のことよろしくお願いします」と大きな顔で出かけられます。それが一番の魅力でした。店を手伝うようになり、保育士の時のような子どもたちと触れ合う楽しさはなくなりました。しかし、今度は商

売を通しての楽しみが味わえるようになり、これもまた人生かな…と思っていました。

#### 突然の発症、酒1本が持てない体に

ところが、店を手伝い始めて10年、42歳の時でした。左足の親指に「ズキン」と激しい痛みがきて、店先で一歩も動けなくなってしまうのです。

「海綿状血管腫」。10万人に1人といわれるくらい珍しい病気でした。脊髄



年に2回、一人暮らしのお年寄りのために、給食ボランティアを行う

にできた腫瘍は取ったものの、後遺症で左半身にしびれと痛みが残ってしまいました。

悪いものを取ればまた元気に働けると思っていた私にとっては、大きな計算違いでした。酒屋なのに酒1本が持たなくなり、すぐそこに見えている商工会館なのに、歩いていくのが辛い。



春と秋には、環境美化活動を展開



「家業の酒屋で。お客様の「ありがとう」が励みに」

手術をしてから5年が経つ  
**診断士への相談が  
 商売の喜びを呼び戻す**  
 意味もわかり、大きく領い  
 ている自分がいました。20  
 年前、保育士を辞めて店を  
 手伝い始めた頃、お客様か  
 らいただく「ありがとう」  
 の言葉を励みに無我夢中で  
 働いた時の喜びに満ちた気  
 持ちが甦ってきたのです。  
 何もできないと諦め、何も  
 しようとしなかった私は、  
 自分で自分の道を見失って  
 いたのだと知りました。

何もできなくなった、何の役にも立たない、私なんかいないほうがいい。仕事ができない悔しさは、生きようとする力さえ失くしてしまっそうでした。家の中にも、腫れものを触るようなピリピリとした重苦しい雰囲気がい、家族の温かい心はわかっていても、自分ではどうしても抜け出すことのできない痛みとの葛藤にさいなまれる日々でした。

こんな下を向いた私を前向きに奮い立たせてくれたのは、店に来るお客様でした。「あなたの顔が見えないと店が寂しかったがね」。お世辞にもそう言ってくださるお客様に知らん顔もできない。メソメソ泣いているわけにもいきません。お客様に元気をもらいながら、30分が1時間に、1時間が2時間にと少しずつ店に出るようになりました。

た頃、商工会を通して中小企業診断士の先生にお会いする機会をいただきました。こんな身体で後継者になつて、これから先、店をどうしたらよいのか悩んでいたのです。30分ほど話をする、先生から一言「あなたは30分の間に、自分のことを『何もできない』『何の役にも立たなくなった』と何回言っただろうか。あなたがそう思っている間は、店は良くなりませんよ」と言われました。

ショックでした。「30分ほどしか話

していない先生に何がわかるの！」。

ほんの一瞬、そんな怒りがこみ上げま

した。でも、数分後には先生の言葉の

**女性部に復帰、支部長として活躍**

女性部の皆さんからも「もう一度復帰してみない？ 無理しなくてもいいからね」と声をかけていただき、村祭りをきっかけに活動に参加するようになりました。さらに、市町村合併の年には、支部長を引き受けました。180度の転換だと友人は驚きましたが、やってみようという心が芽生えた瞬間でした。

現在は、支部員15人ほどで活動しています。年に2回の独居老人の方への給食ボランティア、11月の文化祭にはぜんざいの販売、春と秋には全部員に花の苗を配り、地域の環境美化に努めています。

もう下を向くことはありません。たくさんの人たちに支えられて、今の私があります。痛みとの闘いは一生続くかもしれませんが。でも必要としてくれる人がいる限り、私はこの痛みを忘れることができます。家族、地域、そして女性部の皆さんから力をいただきながら、これからも前を向いて歩いていきます。